

公立小中学校事務職員をめざす障がいのある方々へ

所属職・氏名	共和町立東陽小学校	事務職員	本田 基
採用年度	障がいの種別	平成26年度	聴覚障害（混合性難聴）

■ 事務職員の志望理由

人のために何か出来ないかという思いから、障がい者を対象とした北海道職員試験を受験した結果、「公立小中学校事務職員」に配属されました。

■ 印象に残っている仕事など

体に障がいを持っている児童が、少しでも活動しやすい環境にするために、車椅子でも不便がないようにバリアフリー化や、机など教材備品を整えるなどしてきました。そのためには予算等を確保しなければいけないため、担任等と協力しながら環境整備、児童にとっての必要性を説得力のある説明、準備をしてヒアリングに挑むこととなります。結果、予算がついて学校の将来性を含めて、環境整備することができ、卒業まで無事学校生活を送ることが出来たことが、一番印象に残った仕事です。

■ 小中学校事務職員としてのやりがい

上記にも書かせていただきましたが、予算要望ヒアリングが学校事務職員としての一番の力が入る仕事だと思っています（地域によっては無いところもあります）。そのためには、日頃から職員、子ども達とのコミュニケーションをとりながら情報収集、自分の目でも校内外を周りながら修繕箇所等を確認し、資料作成などしっかり準備していくことが大事だと思っています。教員とは違った視点で見ることが出来るのが事務職員の強みだと思いますし、間接的に子どもの成長につなげるために環境整備が出来るのも事務職員ならではの強みだと思います。まだまだ学ぶことは多々ありますが、先輩事務職員方を参考にしながら日々精進していきたいです。

■ 今後、小中学校事務職員をめざす障がいのある方々へ

子どものそばで、少しでも「子どもたちの成長のために教育環境を整えたい」という気持ちがありましたら小中学校事務職員を目指してみてください。また、小中学校事務職員とはいえ、子ども達と関わる事は多々あります。子どもたちは純粋な気持ちで、「障がい」のことを聞いてきますので、「障がい」の先生としてやさしく説明出来るように準備して下さい。

相互扶助の気持ちを持ちながら仕事をすすめていけば、自然と職員や子どもたちから障害の種類問わず助けられますので、ぜひ挑戦して下さい。心より応援しています。